

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	住宅密集地等消火体制強化事業		
事業担当	消防本部 消防救急課		
事業種類	ハード	ソフト	
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'01	安全 災害に強い安全なまちづくりを進める	
	'03	3 迅速かつ的確な消防・水防と救急・救助、救援の体制を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	平成22年度 ~
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他 】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
市民による初期消火体制が強化されています。		道路狭あい地区や住宅密集地等において、市民による初期消火体制を強化するため、市民が消火栓を使用して消火活動ができるよう、消火用資機材及び収納箱を設置し、訓練等を実施します。	

2. 事業の検証

活動指標	指標名	消火用資機材収納箱設置申請件数			単位	件
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	2	2	2	2	
	実績	2	2	2		
活動指標	指標名	訓練実施回数			単位	回
	説明・算定式	設置済地区を対象とした訓練実施回数				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	2	2	2	2	
	実績	2	2	0		
成果指標	指標名	訓練参加者数			単位	人
	説明・算定式	設置済地区を対象とした訓練に対する参加者数				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	40	40	40	40	
	実績	50	40	0		
成果指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	：遅れている					
	遅れている理由	訓練実施については、自治会との調整ができず次年度実施となったためです。				
平成26年度の主な取組と成果						
消防本部で定めた住宅密集地の12か所のうち、消火用資機材収納箱が未設置であった自治会に対して設置の要望を行い2か所設置しました。なお、設置申請書の提出と収納箱の設置が3月であったことから、訓練は次年度の実施となります。						
平成26年度の検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	市民ニーズ 事業目的の達成状況 市の関与の必要性 その他	道路狭あい地区や住宅密集地等では、消防隊の活動に時間がかかるため、居住する市民の初期消火活動が重要であり、消火用資機材の設置が必要です。	高低
	有効性	上位施策への貢献 市民満足度を高める方策 継続による成果向上の可能性 その他	市民が消火用資機材を使用して初期消火を実施することは、火災の拡大防止に大きな効果があり有効です。	高低
	妥当性	事業の目的、対象、内容 受益者負担、補助額 業務の執行体制(人員配置、業務分担) その他	消火用資機材を使用した消火訓練等を実施することで、市民の防火意識の向上に高い効果が得られます。	高中低
	効率性	業務プロセス改善による効率化の方策 コスト削減の可能性 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) その他	収納箱を設置する場所は、地域ごとに自治会等の関係者と協議し決定する必要があります。	高中低
今後に向けた課題の分析 設置後の安全かつ有効な活用のため、設置場所を管轄する分団に訓練の協力と、自治会等には訓練の回数を増やすよう依頼していく必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額
事業内容		収納箱等の設置及び訓練等の実施	収納箱等の設置及び訓練等の実施	収納箱等の設置及び訓練等の実施	収納箱等の設置及び訓練等の実施
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	477	458	550	663
事業費 (A)		477	458	550	663
執行率 (%)		81.40	83.88	96.83	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針 道路狭あい地区や住宅密集地等に消火用資機材を設置し初期消火体制を強化することで、市民の防火意識の高揚と火災の延焼防止に大きな効果があるため、継続して事業を実施します。
課長コメント 道路狭あい地区や住宅密集地等で初期消火体制を強化するために、地域住民と地元消防団員の協力態勢を築き、資機材取扱い訓練や消火訓練を実施する必要があります。